

# HKFA Technical Report



## FAコーチ通信【YOUTEI NSR FC U-18の躍動】

羊蹄山をバックに、まるでアルプス山脈の麓にあるグラウンドのような素晴らしいシチュエーションのコロポックルグラウンド。そこで今年度活動を始めたばかりのYOUTEI NSRフットボールクラブU18を訪れた。

今回はこの地域と選手たちのために立ち上がった地域の人々と、そこで躍動する選手たちを6月1日と2日に取材させて頂いた。

ロッジ コロポックル <http://pokkuru.net>



## 1 YOUTEI NSR FC U-18 の紹介

NSRとは倶知安町に誕生したU-18のクラブチームである。今年の4月に初声をあげ、現在は高校2年生が1名で1年生が9名で構成されるまだまだ若いチームだ。合計でまだ10名と人数が少ないため、今年度はリーグ戦などには参加をせずに、トレーニングマッチを組むことでサッカー経験を積んでいる。

グラウンドはしっかりと管理が行き届いた天然芝で、ロッジ経営をしている老舗のロッヂ<コロポックル>の岡田オーナーに無償で提供してもらいながら、週に平日3回のトレーニングで汗を流している。ちなみにこのグラウンドは、本来であれば相応の使用料がかかるところであるが、地域に根ざしたグラウンドを、というオーナーの心意気で、小学生であれば1日1人500円で貸し出しをしてくれる時もあるようだ。

## 2 チーム誕生秘話

そもそもなぜU18だったのか？ 通常で考えればU-12もしくはU-15と思うところであるが、そこがこのチームのユニークな発想だ。

私がこのチームに興味を持ったのは、昨年度開催されたライセンス講習会での浅野コーチとの出会いがきっかけだった。浅野コーチは、チームを4月から立ち上げるということと、高校生を中心とした地域に根ざしたチーム作りをするということを熱く語ってくれた。

実際に私が訪問した日には、クラブの中田会長と浅野コーチ、政田トレーナーで出迎えてくれ、このチームに対するたくさんの思いを聞くことができた。

3人のスタッフが口を揃えて言っていたのは、「サッカーをやりたい高校生がいるのであればそれを提供してあげるのは大人として当たり前発想だ」ということ。

この地域には高校が倶知安高校、倶知安農業高校、岩内高校、寿都高校、蘭越高校などがあるが、サッカー部がなかったり人数不足で部活動として成り立たなかったりと選手たちにとってはサッカーをやりたいくてもできない環境にある。そんな状況を打開すべく地域の大人たちが立ち上がった。チームを立ち上げるにあたっての不安などはなかったのかと聞いたところ、「失敗なんて考えていたら前に進めない。何も考えないでただ、目の前の選手たちのために動いただけ、ただそれだけだ。」と中田会長や浅野さんたちは笑って答えてくれたのが印象的だった。



### 3 今後の目標

現在は法人化も視野に、自治体にも協力を要請しており、感触は上々だということだ。今後はもっと広く周知しながら、JRでも通える範囲内の選手たちを取り込んでいければいいし、そのためにグラウンドにお手製のナイター設備（実験中）やマイクロバスも購入し、少しでも地域の活性化に貢献していきながら、選手たちにそういった大人の背中を見せていく、そういう姿勢が素晴らしいと感じた。また、この地域には外国にルーツを持つ児童や学生もいるため、多国籍チームとしての可能性も広がってくる。そんな素敵な未来を話してくれたスタッフの目が輝いていた。



### 4 コロポックルフェスティバル

初日は高校生の選手たちとトレーニングで汗を流し、2日目には地域の小学生以下の子どもたちのために、地域の大人たち主催のフェスティバルが開催された。

さまざまなイベントが準備されていて、多くの子供たちがあいにくの天気にもかかわらず朝から夕方までサッカーボールをひたすら追いつけていた。最後には少年団のコーチを含めた大人チームとNSR U18の高校生チームで6対6のエキシビジョンマッチで締めくくった。

### 5 まとめ

北海道の各都心から離れた地域にとっては、今後間違いなくNSRはモデルチームとなっていくと思う。そのためにも、こういった活動を少しでも多くの方に知ってもらい、共有していくことが大切で、今後もYOUTEI NSR FCの活動に注目していきたい。

最後に、中田会長と浅野コーチはじめ多く方に大変お世話になり心よりお礼申し上げます。

